

オール鹿沼産!!!

2024年10月1日「日本酒の日」より限定販売!

鹿沼のお水とお米で日本酒「車窓」をつくりました

沿線地域の事業者と共同で開発したオリジナルの日本酒を
東武商事駅ナカショップ「ACCESS」で販売します!

東武鉄道株式会社
東武商事株式会社

東武鉄道（本社：東京都墨田区）と東武商事（本社：東京都墨田区）では、2024年10月1日より鹿沼市にある小林醸造株式会社と共同で開発した日本酒を浅草駅・下今市駅・東武日光駅・鬼怒川温泉駅の東武商事駅ナカショップ「ACCESS」にて限定発売します。

東武鉄道と東武商事では、「高付加価値で持続可能な観光地域づくり」を目指し、地域の水、地域の食材を使用して、地域の皆様と連携しながら商品の開発を行い、新たな沿線の魅力の創造、観光需要喚起を図っております。東武鉄道がスペースX1周年を記念し、7月13日に販売を開始した日本酒「車窓」が大変好評なことから、このたび酒米を変えて醸造した「車窓」を発売します。

小林醸造は、廃校になった旧上粕尾小学校を再利用し、栃木県鹿沼市に今年37年ぶりとなる清酒蔵を復活させた酒蔵です。原料となる酒米の田植えから収穫、日本酒の仕込み、完成までの一連の酒造り体験が可能です。るとともに、顧客の要望に応じたオーダーメイドの日本酒を造ることができます。

今回販売する「車窓」は、鹿沼市の豊かな自然の恵みを活かした鹿沼産酒米と、日光開山の祖と呼ばれる「勝道上人」の修行の地であり、「天狗の杜」として有名な古峯神社の御神水を使用するなどオール鹿沼産にこだわり、また実際に東武鉄道と東武商事の職員が酒造り体験に参加しました。

オリジナルラベル「車窓」の販売をきっかけとして、インバウンドの関心も高まっている「日本酒」における食・体験型のコンテンツとして、鹿沼エリアの新しい旅を提案するとともに地域の活力が還元される循環型の観光地づくりを目指していきます。

詳細は別紙のとおりです。



古峯神社



旧体育館を活用した小林醸造所



醸造所の内観

オリジナル日本酒「車窓 SHA-SŌ」概要

<酒造り体験の様子>



商品の詳細は下記のとおりです。

1 商品名

「車窓 SHA-SŌ」

鉄道旅らしく移りゆく車窓の風景と一緒に日本酒を楽しんでいただきたいという想いが込められています。ラベルには、鹿沼組子をモチーフにしたスペーシア X の窓からのぞく男体山を描きました。

2 商品内容

酒米：鹿沼産山田錦（有機栽培）酵母：協会酵母 1801 号 水：古峯神社御神水
精米歩合：55% アルコール度数：14%（無加水）
常温保存可 冷暗所推奨



スペーシア X 車内で
販売中の 180 ml

3 製造（発売）本数

限定 300 ml 500 本、720 ml 100 本（発売数量に達し次第、販売を終了いたします。）

4 発売日

2024年10月1日（火）

10月1日は「日本酒の日」、新しい「車窓」にて乾杯をしましょう。

※2024年9月29日（日）SL ファンフェスタ会場にて限定本数を先行販売

5 販売価格（税込）

1,380 円（300 ml） / 2,970 円（720 ml） /

6 販売場所

東武商事駅ナカショップ「ACCESS」

東武浅草駅店・下今市駅上りホーム店・東武日光駅店・鬼怒川温泉駅店

※下今市駅上りホーム店は 300 ml のみの発売です。

7 製造者 小林醸造（栃木県鹿沼市上粕尾393-1）

[（前日光醸造所 | SMALL FOREST BREWING | 日本酒の個人オーダーメイド醸造と、栃木県鹿沼市で地酒づくり | 小林醸造株式会社）](#)

参考

[スペース X 車内販売分について](#)

現在スペース X 車内の GOEN CAFÉ SPACIA X にて販売中の日本酒「車窓」は、180 ml も好評販売中です。商品の詳細は、下記のリンクからご確認ください。

[スペース X 1号車カフェカウンターにおけるメニュー拡充について | 東武鉄道公式サイト \(tobu.co.jp\)](#)

以 上